

学ぶことの楽しさと伝えることの喜び

尼崎市立教育総合センター
所長 倉橋 忠



初任者の頃、私は教材研究をしていてつまずいた。『農耕の発達が世界の四大古代文明の共通項であるが、地理的立地条件として見れば乾燥帯に存在する大河の流域である。それはなぜか？』自ら発見した謎であったが、どうしても解けなかった。そのために、これは当時の私の授業のネタにはならなかった。後に分かったのであるが、いずれの地も自然状態では草が生えにくいことで共通している。草が生えないから農耕が可能であり、かつ必要性があったのである。農耕にとって、雑草が強大な敵であることは、日々農作業を経験すればわかる。ある歴史学の老教授によれば、このことは、かつては日常生活の「当たり前」で、学ぶための共通の知識であった。けれども、農耕経験のない、今日の教員や子どもたちがこの事実を知ることは至難の業である。

そして、私は再び「草」でつまずいた。「朝おきを致し、朝草を刈、昼八田畑耕作にかゝり、晩に八縄をない、たわらをあみ(後略)」。かの有名な「慶安御触書」の一条文である(この触書は存在しなかったとの学説もあるが)。「草を刈る」ことの意味が分からなかった。

自分自身が中学生のときには、何の疑問も感じずに『作物をより実らせるために田畑の草を刈り、家畜の餌を用意した』と理解していた。しかし、指導するために読み直すと、疑問が生じた。田畑の養生のためであれば草は根本から抜かなければならないはずであり、家畜の餌であれば草場で家畜を放せば済むことである。ある日、農家の人と話をしていて「土を耕すときに草も一緒に耕せばこやしになる」と聞かされて、自分の不明を恥ずかしく思った。草が肥料だと言うことは、書籍から学ばなくても「生きる知恵」として、農家の親子代々に伝わる知識であったのだ。

そこで、文献上の根拠を探した。翻訳されな

い「原典」に触れたとき、私の疑問は解け始めた。すなわち、後の一条文には「百姓八こへはい調置候儀専一二候間、せつちんをひろく作り(中略)、庭之内二三尺二間程にほり候而、其中へはきため又八道之芝草をけつり入、水をなかし入、作りこ糸を致し(後略)」とある。刈草はやはり肥料なのではないか？ 私は肥料の概説書を読み始め、何冊かの書籍を読んだ後、次の結論に達した。遅くとも弥生時代には草が肥料として利用され、平安時代の肥料の主戦力は草であった(緑肥：刈り取った草を土に入れる)。ちなみに、江戸時代の宮崎安貞は、その著書『農業全書』で、草を「草糞」として重要な肥料の一つにあげている。

このようにして、私は教材研究をきっかけに学ぶことの楽しさを体験した。それ以後、私は教材研究の度に様々な疑問に出会い「謎解き＝知る喜び」を楽しむようになった。一方で、「生きる知恵」が、次第に家族間で伝えられにくくなっていることに私は気づいた。

元来、家族間で「生きる知恵」を伝えることが、家族の存立と個人の生命を守る喜びであったはずである。明治初期の学校教育が始められた頃には、多くの子どもたちは自然の中で育ち、「生きる知恵」は親子の間で伝えられた。初期の学校教育の役割は、家族では伝えることができない「学問」や「科学」された知識を「教える」ことであつたのであろう。そこでの学びは、豊かな生活体験に支えられた。

今日の子どもの学習内容と生活経験の距離は、かつての時代とは根本的に異なっている。都会の子どもたちが日常体験していることは、自然界から見ればバーチャルな世界である。そのような時代だからこそ、「謎解き」中心の構成で学ぶ楽しさと、学ぶ方法を伝える授業で子どもたちの学力形成に挑戦することを提唱したいと私は思う。

平成17年度 教職員研修・教育研究の方針

学校教育の重要な役割は、児童生徒が社会の変化に対応し、主体的・創造的に生きていくために必要な資質や能力を育成することです。教育総合センターでは、教職員の指導力向上と意識改革を大きな責務として、次のような研究・研修事業を予定しています。

1 基本研修

校・園長、教頭など職階別、教務・学年主任など職務別研修を実施します。本年度も新採用教員研修の充実を図ります。2年目、3年目、4年目、10年目、20年目など経験年数別研修も、それぞれに応じた課題で研修します。また、1～4年目教員には、授業設計力を高める研修を実施するとともに、学習指導案をデータベース化し、AMA-NET上で市内での共有化を図ります。また、異校種間交流研修は、勤続4年目教員研修で実施いたします。

2 専門研修

児童生徒に基礎・基本を身につけさせ、多様な能力や個性の伸長を図る教育を推進しようとする教員を支援するのが専門研修です。

次の分野別に講座を設けています。

- (1) 個を大切に作る研修講座
- (2) 授業づくり研修講座
- (3) 共に生きる心をはぐくむ研修講座
- (4) 情報教育

学校での情報教育推進のための「情報モラル研修」、「小・中・高等学校別のコンピュータ活用研修」、教職員のコンピュータ操作技術の向上を目指す「コンピュータ入門研修」及び「コンピュータ活用研修」、教職員の情報交換に役立つ「AMA-NET メール入門研修」等を実施します。

その他、学校管理職コンピュータ活用研修、事務職員コンピュータ活用研修等、管理・運営について研修を実施します。

3 派遣研修

本年度も、夏季休業中に、民間企業で、経営の実際・企業努力等を体験する企業派遣研修、及び肢体不自由児のための通園施設での福祉体験研修を予定しています。また、教職に関する専門性をより高めるため兵庫教育大学大学院への派遣研修(2年間)を実施します。

4 特別研修

学級経営の悩み事はありませんか

教育総合センターでは、学級経営でお悩みの先生方からの相談に応じます。

また、情報教育の校内研修を応援するため、指導主事を派遣します。

5 教育研究

教育長から委嘱を受けた教員が研究員となり、教育総合センター及び教育相談課の職員と協同して実践的な研究を行います。本年度は次の9部会です。

- ・心の教育
- ・小学校総合的学習
- ・国語科教育
- ・算数・数学科教育
- ・理科教育
- ・英語科教育
- ・小学校情報教育
- ・デジタルコンテンツ活用
- ・中学校実務

(教育総合センター所長 倉橋 忠)

平成17年度 教育相談課運営の方針

最近、“うつ”のチェックリストやパニック障害、心の健康法などの記事をよく見かけます。それだけ、誰もが心に悩みや不安、大きなストレスを抱える時代になったのではないのでしょうか。

本市においても、いじめ、不登校、キレる子ども、青少年の非行問題、しつけや子育て不安、虐待、LD・ADHD等、様々な問題に対応するため、昨年4月に『心の教育相談室』を『教育相談課』に組織改正し、多岐にわたる相談に対応してまいりました。

今年度も教育相談課のスタッフ24名は、学校や家庭への支援の立場で、充実した対応を図っていきたくと考えております。

1 組織及び事業の概要

教育相談課は、来室相談、電話相談を中心とした教育相談担当と不登校児童生徒対策としての適応指導担当の二つの係からなっています。

2 事業の内容と運営方針

<教育相談担当>

(1) 教育相談事業

来室相談、電話相談、出張相談等をおおして、子どもや保護者、学校園からの相談に応じ、児童生徒の望ましい発達を支援します。心療内科医による相談もあります。

(2) 高等学校カウンセラー派遣事業

市立高等学校にカウンセラーを派遣し、教職員のカウンセリングマインドについての研修や心の悩みを持つ生徒及びその保護者の面接相談等を実施します。

(3) 心の教育強化支援事業

各校が抱える課題解決の一助として、大学教授、精神科医等を講師として小学校に派遣します。(15校)

夏季休業及びその前後に集中し、心の教育相談研修・演習講座を実施します。

心の教育特別支援員(12名)を配置し、LD・ADHD等の子どもへの指導

や学習活動、学級経営を支援します。

<適応指導担当>

(1) 不登校児童生徒対策事業

学校生活に適応しにくい児童生徒に対して、適応指導教室(はつらつ学級)への通所や自宅への訪問指導等をおおして、早期の学校復帰と自立を支援します。

(2) ハートフルフレンド派遣事業

不登校状態の児童生徒に対して、年齢が近い大学生や社会人を派遣し、会話や遊び等をおおして早期の学校復帰と自立を支援します。

(3) スクールカウンセラー配置事業

県が、全中学校にスクールカウンセラーを配置します。通学区域の小学校も活用できます。

3 教育相談の現場から

平成16年度の相談件数及び内容は、概ね次のような状況になっています。

(1) 面接相談(延べ) 2095件

電話相談 946件

(2) 出張相談

子どもや教師対象 108件

子育て研修会講話 16件

(3) 面接相談内容

精神情緒(不登校等) 42.1%

性格行動(友人、親子関係等) 38.3%

身体言語(発達遅滞等) 6.2%

学業進路(進路等) 11.1%

その他(教師の相談等) 2.3%

(4) 適応指導教室(はつらつ学級)

入級者 小学生2人 中学生32人

学校への復帰率 85.3%

(教育相談課長 大龍 雅子)

教育相談課・教育総合センター 組織・事務分掌表

平成17年4月1日現在

学校教育部長 石原 誠治

学務課	学校教育課	生徒障害 指導 児童・教育 担当	教育相談課長 大龍 雅子		学校保健課	教育総合センター所長 倉橋 忠	
			教育相談担当 教育相談（来課、出張） 電話相談 教育相談に関する調査・研究・研修 高等学校カウンセラー派遣 心の教育強化支援事業 係長 西本 由美 教育相談担当の統括 指導主事 是枝 周二 教育相談、研修、カウンセラー派遣 嘱託員 武田 静栄 教育相談、調査研究 嘱託員 七尾 真奈 教育相談、調査研究 嘱託員 奥田 佐恵 教育相談、調査研究 嘱託員 岡本 敦 教育相談、調査研究 嘱託員 山本 順子 電話相談、庶務 嘱託員 清水 陽三 電話相談			研修担当 教職員研修 教育に関する調査・研究・教材開発 情報誌の発行 教育総合センターの運営・計画調整 教科書センターの管理 予算・管理 庶務 文書管理 教育情報収集・整理・提供 係長 櫻野 友弥 研修担当の統括、校長研修、特別研修、文書管理、 教育総合センターの運営・計画調整、予算管理 指導主事 谷口 陽三 教頭、新任校長・教頭、勤続3年目、人権、道徳、 総合的学習、社会科、教員研修 指導主事 阿部 保彦 勤続1～4年目、学年経営、生徒指導、算数・数学科、図工・美 術科、体育科、視覚教材製作研修 指導主事 廣井 尋美 新採用、初任者指導力向上（ステップアップ）勤続2年目、 管外転入教員、研究主任、技術・家庭科、生活科、音 楽科、幼児教育、学級経営研修 指導主事 加藤 英仁 勤続1年目、勤続4年目、勤続20年目、教務主任、学校安全 推進、障害児、英語科、図書館、福祉、環境教育、国際理解研修 主任 宮内 市子 予算・決算、維持管理、庶務 再任用 倉田 利彦 情報誌の発行、学級経営相談 嘱託員 幾田みよき 資料の収集・整理・提供、教科書センターの管理	
			適応指導担当 不登校児童・生徒の対策及び指導・助言 適応指導教室（はつらつ学級）における指導 ハートフルフレンド派遣事業等 スクールカウンセラーの派遣 係長 平垣 新一 適応指導担当の統括 指導主事 大石 泰樹 適応指導、不登校対策、研修啓発 嘱託員 廣峰 勝義 はつらつ学級担当 嘱託員 今本美佐子 はつらつ学級担当 嘱託員 山田 大介 はつらつ学級担当 嘱託員 小玉 多恵 はつらつ学級担当 嘱託員 西塚 成代 訪問指導 嘱託員 安田 幸子 訪問指導 嘱託員 谷 本吉 訪問指導 嘱託員 増田 博恭 訪問指導 嘱託員 下村 隆康 訪問指導 嘱託員 岡田 年平 訪問指導 嘱託員 岸本 昭 訪問指導 嘱託員 畑 卓 訪問指導 嘱託員 古川 智敏 訪問指導		情報教育担当 教職員研修 情報教育に関する調査・研究・教材開発 ネットワーク システム 複合施設の維持管理 視聴覚センターの運営・計画・助言 係長 米田 浩 情報教育担当の統括、研修管理、複合施設の維持管理 視聴覚センターの運営・計画・助言 指導主事 伊藤 吾郎 情報教育の推進（幼・中・高）、学習用コンピュータ（中）、 初任者対応、情報モラル、新任管理職コンピュータ 活用、（中）コンピュータ活用、メール関係、ホームペ ージ関係、国語科研修 指導主事 藤井健三郎 情報教育の推進（中・高）、コンピュータ入門、AMA-NE T関係、（中）初任者対応、中・高ネットワーク活用、 教育用コンピュータシステム管理、ノーツ関係、AMA- NETメール入門、理科研修 指導主事 中嶋 修一 情報教育の推進（幼・小・高）、（小）初任者対応、コンピュータ入門・ 活用、（小）コンピュータ自主研修、ビデオ編集講習、16mm映写機 技術講習、アナウンス教室 指導主事 市川 勉 情報教育の推進（小・高）、コンピュータ入門・活用、学習用コン ピュータ（小）、（小）初任者対応、管理職コンピュータ 活用、事務職員コンピュータ活用研修、事務支援シス テム関係 再任用 津川 圭司 事務処理支援、複合施設の維持管理、視聴覚ライブラ リーの管理		

平成17年4月1日付 人事異動

【転入者等】（前任）
 教育相談課長：大龍雅子（大庄北中学校教頭）
 適応指導担当係長：平垣新一（教育相談担当係長）
 教育相談担当係長：西本由美（教育相談担当指導主事）
 情報教育担当係長：米田 浩（情報教育担当指導主事）
 教育相談指導主事：是枝周二（武庫公民館係長）
 研修担当指導主事：加藤英仁（大庄東中学校）
 情報教育担当指導主事：中嶋修一（スポーツ振興室指導主事）
 情報教育担当指導主事：市川 勉（浜小学校）
 嘱託員（教育相談課）：岡本 敦（新規）
 再任用（情報教育担当）：津川圭司（水堂青少年会館）
 再任用（研修担当）：倉田利彦（学校教育部）

【退職者】 嘱託員（教育相談課）：串上憲司、 嘱託員（教育相談課）：山本有希、
 嘱託員（教育相談課）：小野宗一、 嘱託員（情報教育担当）：高見寿子

【転出者】（転出先）
 教育相談課長：大門貞憲（武庫東中学校長、H16.10.1付）
 適応指導担当係長：芝垣 順（立花小学校教頭）
 情報教育担当係長：上田勝則（日新中学校教頭）
 研修担当指導主事：榎尾一秀（園田北小学校教諭）
 情報教育担当指導主事：西田 互（名和小学校教諭）
 嘱託員（教育相談課）：野川 啓（武庫庄小学校教諭）

開館時間のご案内 平日 午前9時～午後9時 《ただし、教育相談および視聴覚ライブラリーは午後5時15分までとします》 なお、次の日は取り扱いいたしません。【土曜日・日曜日・祝日・年末年始】	発行 尼崎市立教育総合センター 尼崎市三反田町1丁目1-1（ .06-6423-3400 ） 発行者 倉橋 忠 題字 教育委員会教育委員長 岡本元興
--	--